

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 川崎汽船株式会社 上場取引所 東名福
 コード番号 9107 URL https://www.kline.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 明珍 幸一
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報グループ長 (氏名) 二口 正哉 TEL 03-3595-5189
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	567,189	△11.2	21,627	—	24,539	—	25,223	—
2019年3月期第3四半期	638,498	△27.8	△9,273	—	△27,427	—	△30,953	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 16,413百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △28,109百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	270.43	—
2019年3月期第3四半期	△331.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2020年3月期第3四半期	917,646	229,615	229,615	14.2		
2019年3月期	951,261	181,233	181,233	10.9		

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 129,942百万円 2019年3月期 103,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	740,000	△11.6	5,000	—	5,000	—	11,000	—	117.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）“K” LINE HEAVY LIFT (GERMANY) GmbH

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

詳細は、[添付資料]10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	93,938,229株	2019年3月期	93,938,229株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	665,943株	2019年3月期	666,319株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	93,272,333株	2019年3月期3Q	93,272,079株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提につきましては、[添付資料]5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

2020年1月31日開催の決算説明会資料を、弊社ホームページ上に掲載しています。

（弊社（川崎汽船）ホームページ）

<http://www.kline.co.jp>

（投資家情報）

<https://www.kline.co.jp/ja/ir.html>

（決算説明会資料）

<http://www.kline.co.jp/ja/ir/library/presentation.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
最近における四半期ごとの業績の推移（連結）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(億円未満四捨五入)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減額 (増減率)
売上高 (億円)	6,385	5,672	△713 (△11.2%)
営業損益 (億円)	△93	216	309 (—)
経常損益 (億円)	△274	245	520 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (億円)	△310	252	562 (—)

為替レート(¥/US\$)(9ヶ月平均)	¥110.80	¥109.05	△¥1.75 (△1.6%)
燃料油価格(US\$/MT)(9ヶ月平均)	US\$454	US\$445	△US\$9 (△1.9%)

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）の売上高は5,671億89百万円（前年同期比713億8百万円の減少）、営業利益は216億27百万円（前年同期は92億73百万円の営業損失）、経常利益は245億39百万円（前年同期は274億27百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は252億23百万円（前年同期は309億53百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績概況は次のとおりです。

(億円未満四捨五入)

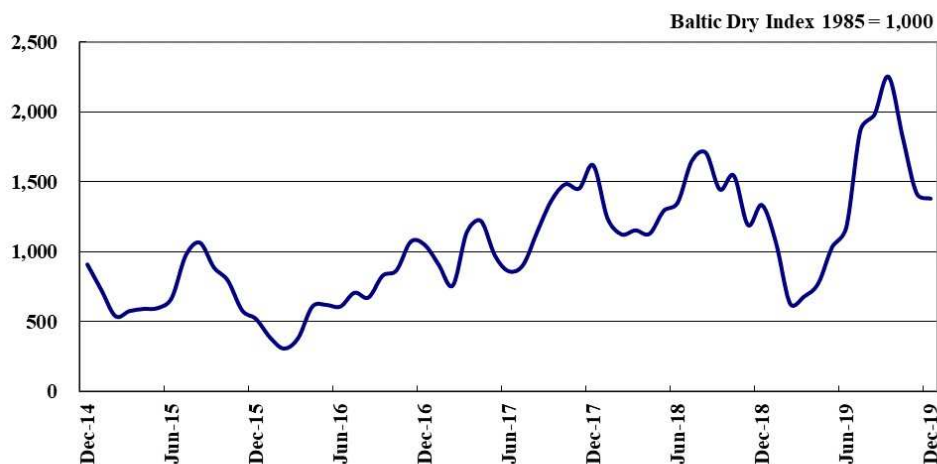
		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減額 (増減率)
ドライバルク	売上高 (億円)	2,088	1,819	△269 (△12.9%)
	セグメント損益 (億円)	35	40	4 (12.0%)
エネルギー 資源	売上高 (億円)	654	650	△4 (△0.6%)
	セグメント損益 (億円)	19	77	57 (297.2%)
製品物流	売上高 (億円)	3,390	2,951	△440 (△13.0%)
	セグメント損益 (億円)	△297	157	454 (—)
その他	売上高 (億円)	253	253	△0 (△0.2%)
	セグメント損益 (億円)	10	13	3 (27.3%)
調整額	セグメント損益 (億円)	△42	△41	1 (—)
合計	売上高 (億円)	6,385	5,672	△713 (△11.2%)
	セグメント損益 (億円)	△274	245	520 (—)

①ドライバルクセグメント

[ドライバルク事業]

大型船においては、ブラジルからの鉄鉱石出荷量に減少傾向が見られるなか、燃料油の環境規制施行前に非適合油を持つ船が大西洋水域にバラスト航海を行ったことにより、同水域での船腹供給が増加しました。また、中・小型船においても、南米出し穀物や中国向け一般炭の荷動き鈍化により、期央から市況は軟調に転じました。このような状況のなか、ドライバルクセグメント全体では前年同期比で減収となりましたが、運航コストの削減・配船の効率化に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

ドライバルク市況 (Baltic Dry Index)



期間: 2014/12~2019/12

②エネルギー資源セグメント

[油槽船事業・電力炭船事業]

大型原油船、LPG船、電力炭船ともに、中長期の傭船契約のもとで順調に稼働し、安定的に収益に貢献しました。

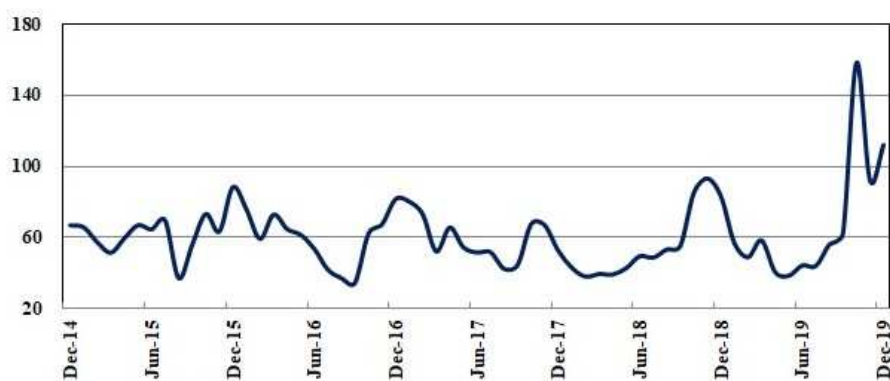
[液化天然ガス輸送船事業・海洋資源開発事業]

LNG船、ドリルシップ（海洋掘削船）及びFPSO（浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備）は中長期の傭船契約を中心とした事業展開のもとで順調に稼働し、安定的に収益に貢献しました。

オフショア支援船においては船腹の需給バランスが一部改善し、損失が縮小しました。

以上の結果、エネルギー資源セグメント全体では前年同期比で減収となるも、増益となりました。

タンカー市況 VLCC ワールドスケール (中東/日本)



期間: 2014/12~2019/12

③製品物流セグメント

[自動車船事業]

当社自動車船事業の輸送台数は、極東出し航路において安定した荷動きを維持した一方、三国間等における一部不採算航路の休止・改編を含む合理化により前年同期比で減少しました。

その結果、前年同期比で減収となるものの、運航効率の改善、船隊規模の最適化、コスト削減など、収支改善に取り組んだ結果、黒字に転換しました。

[物流事業]

国内物流事業は、曳船事業、海陸一貫輸送、倉庫事業を中心に堅調に推移しましたが、国際物流事業においては、主に米中貿易摩擦による航空貨物取扱高の減少が大きく影響したことにより、物流事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

[近海・内航事業]

近海事業においては、鋼材・バイオマス発電用燃料を中心に輸送量は堅調に推移した一方、木材輸送は前年同期を下回る輸送量となりました。内航事業においては、スケジュール安定化により定期船の輸送量が増加、フェリー事業においても輸送量が堅調に推移したことなどにより、近海・内航事業全体では前年同期比で減収となるも、増益となりました。

[コンテナ船事業]

当社持分法適用会社であるOCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. 社（以下、「ONE社」）の業績は、積高・消席率の回復、北米の長期契約運賃の改善、貨物ポートフォリオ改善、航路改編・合理化による運航費削減など収支改善への取組みにより、前年同期比で増収となり、黒字に転換しました。

当社に残るコンテナ船事業においては、前年同期比で減収となりましたが、事業移管に伴う一過性費用の減少により、損失は縮小しました。

以上の結果、製品物流セグメント全体では前年同期比で減収となるも、増益となりました。

④その他

その他には、船舶管理業、旅行代理店業及び不動産賃貸・管理業等が含まれており、前年同期比で減収となるも、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末に比べ336億15百万円減少し、9,176億46百万円となりました。

負債の部は、その他流動負債の減少などにより前連結会計年度末に比べ819億97百万円減少し、6,880億30百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べ483億82百万円増加し、2,296億15百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円未満四捨五入)

	前回予想 (2020年3月期 第2四半期決算発表時点)	今回予想 (2020年3月期 第3四半期決算発表時点)	増減額 (増減率)
売上高(億円)	7,400	7,400	— (—)
営業損益(億円)	60	50	△10 (△16.7%)
経常損益(億円)	50	50	— (—)
親会社株主に帰属する 当期純損益(億円)	110	110	— (—)
為替レート(¥/US\$)	¥108.58	¥108.92	¥0.33 (0.3%)
燃料油価格(US\$/MT)	US\$485	US\$470	△US\$15 (△3.1%)

ドライバルクセグメントでは、中国経済減速による荷動きへの影響が懸念されますが、運航効率の改善とコスト削減及び市況エクスポージャー削減等の取組みを継続します。エネルギー資源セグメントでは、引き続き中長期の備船契約による安定収益の確保を見込みます。製品物流セグメントにおいては、自動車船事業は、中東の政情不安等の外的要因による需要の落ち込みを想定するも、運賃率改善や合理化効果の現出により収益の確保を見込みます。ONE社は旧正月後の荷動き減少や米中貿易摩擦等の懸念材料はありますが、貨物ポートフォリオ最適化・コスト削減策の継続による収益改善が見込まれます。

以上のとおり、当社を取りまく事業環境は、引き続き不透明ではあるものの、当社グループでは更なるコスト削減や運航効率改善を推進し、収支改善に努めることで、通期での売上高、経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益については前回発表値を据え置くことといたします。

当社は経営計画の主要課題である持続的成長のための設備投資、企業体質の充実・強化に必要な内部留保等を勘案しつつ、安定的な配当を実施し、株主の皆さまへの利益還元を最大化することを重要課題と位置づけています。当社は現在も業績向上のための施策に取り組んでいますが、米中貿易摩擦や中東の地政学的緊張の高まり等による世界的な景気減速、輸送需要後退リスクの懸念は払拭できておらず、通期連結業績予想の達成には予断を許さない状況となっていることから、期末配当につきましては未定とさせていただきます、通期の見通し及び財務状況を総合的に勘案し、予想可能となった段階でお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	143,201	113,412
受取手形及び営業未収金	62,722	64,338
原材料及び貯蔵品	26,258	26,526
繰延及び前払費用	40,545	42,198
その他流動資産	17,411	16,213
貸倒引当金	△1,267	△1,133
流動資産合計	288,871	261,555
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	392,177	386,325
建物及び構築物(純額)	13,032	12,513
機械装置及び運搬具(純額)	9,373	9,813
土地	18,397	18,502
建設仮勘定	12,923	6,100
その他有形固定資産(純額)	2,726	4,584
有形固定資産合計	448,632	437,839
無形固定資産		
その他無形固定資産	4,377	4,356
無形固定資産合計	4,377	4,356
投資その他の資産		
投資有価証券	164,110	163,491
長期貸付金	17,328	17,114
退職給付に係る資産	673	633
その他長期資産	28,606	33,956
貸倒引当金	△1,336	△1,301
投資その他の資産合計	209,381	213,894
固定資産合計	662,390	656,090
資産合計	951,261	917,646

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	57,836	56,425
短期借入金	86,423	79,201
未払法人税等	1,711	1,807
独占禁止法関連損失引当金	3,783	834
備船契約損失引当金	15,135	3,710
その他の引当金	2,902	1,564
その他流動負債	111,559	61,052
流動負債合計	279,352	204,596
固定負債		
社債	10,000	7,000
長期借入金	405,706	405,849
繰延税金負債	9,633	8,019
再評価に係る繰延税金負債	1,174	1,174
役員退職慰労引当金	894	383
株式給付引当金	19	16
特別修繕引当金	12,251	11,368
退職給付に係る負債	6,228	6,025
その他固定負債	44,767	43,596
固定負債合計	490,675	483,434
負債合計	770,028	688,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,457	75,457
資本剰余金	1,383	13,721
利益剰余金	16,692	41,989
自己株式	△2,381	△2,384
株主資本合計	91,152	128,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,414	1,604
繰延ヘッジ損益	2,999	△928
土地再評価差額金	4,655	4,634
為替換算調整勘定	4,063	△809
退職給付に係る調整累計額	△3,710	△3,344
その他の包括利益累計額合計	12,423	1,157
非支配株主持分	77,657	99,673
純資産合計	181,233	229,615
負債純資産合計	951,261	917,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	638,498	567,189
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	601,230	502,116
売上総利益	37,268	65,073
販売費及び一般管理費	46,541	43,446
営業利益又は営業損失(△)	△9,273	21,627
営業外収益		
受取利息	1,082	893
受取配当金	1,283	1,887
持分法による投資利益	—	8,174
為替差益	1,241	—
その他営業外収益	1,784	1,577
営業外収益合計	5,390	12,532
営業外費用		
支払利息	6,190	7,699
持分法による投資損失	16,307	—
為替差損	—	910
その他営業外費用	1,046	1,009
営業外費用合計	23,544	9,620
経常利益又は経常損失(△)	△27,427	24,539
特別利益		
固定資産売却益	3,521	2,692
関係会社清算益	239	2,967
その他特別利益	2,102	1,196
特別利益合計	5,862	6,857
特別損失		
減損損失	322	254
関係会社清算損	—	248
その他特別損失	213	108
特別損失合計	536	611
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,101	30,784
法人税、住民税及び事業税	1,826	2,982
法人税等調整額	5,108	△177
法人税等合計	6,935	2,804
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,036	27,980
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,916	2,757
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,953	25,223

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△29,036	27,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,728	△2,952
繰延ヘッジ損益	△3,133	△2,301
為替換算調整勘定	1,927	△4,525
退職給付に係る調整額	90	311
持分法適用会社に対する持分相当額	6,771	△2,099
その他の包括利益合計	927	△11,566
四半期包括利益	△28,109	16,413
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,139	13,977
非支配株主に係る四半期包括利益	2,030	2,435

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社KLKGホールディングス株式会社の株式を一部売却したことにより、資本剰余金が12,662百万円増加しています。

これを主な要因として、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が13,721百万円となっています。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

国際財務報告基準（IFRS）を適用している在外連結子会社及び在外持分法適用会社において、IFRS第16号「リース」（2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。）を、第1四半期連結会計期間より適用しています。IFRS第16号の適用により、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しています。当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が2,084百万円減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ドライバルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	208,781	65,383	339,039	25,294	638,498	—	638,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	0	6,939	36,628	43,646	△43,646	—
計	208,859	65,383	345,979	61,922	682,144	△43,646	638,498
セグメント利益又は損失(△)	3,539	1,931	△29,727	1,048	△23,206	△4,220	△27,427

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理、旅行代理店及び不動産賃貸・管理業等が含まれています。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,220百万円には、セグメント間取引消去△60百万円と全社費用△4,160百万円が含まれています。全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ドライバルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	181,886	64,989	295,064	25,250	567,189	—	567,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	0	6,480	37,053	43,541	△43,541	—
計	181,893	64,989	301,544	62,304	610,731	△43,541	567,189
セグメント利益又は損失(△)	3,963	7,673	15,668	1,334	28,640	△4,101	24,539

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理、旅行代理店及び不動産賃貸・管理業等が含まれています。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,101百万円には、セグメント間取引消去△37百万円と全社費用△4,063百万円が含まれています。全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

3. 補足情報

最近における四半期ごとの業績の推移(連結)

2020年3月期

	第1四半期 2019年4月～ 2019年6月	第2四半期 2019年7月～ 2019年9月	第3四半期 2019年10月～ 2019年12月	第4四半期 2020年1月～ 2020年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	183,312	189,083	194,793	
営業損益	4,052	7,012	10,562	
経常損益	2,713	10,659	11,166	
税金等調整前四半期純損益	8,567	10,715	11,501	
親会社株主に帰属する 四半期純損益	7,779	8,531	8,911	
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	83.41	91.47	95.54	
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	931,816	910,735	917,646	
純資産	208,777	213,259	229,615	

2019年3月期

	第1四半期 2018年4月～ 2018年6月	第2四半期 2018年7月～ 2018年9月	第3四半期 2018年10月～ 2018年12月	第4四半期 2019年1月～ 2019年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	212,177	203,952	222,368	198,233
営業損益	△13,370	1,048	3,047	△15,462
経常損益	△17,095	△4,233	△6,098	△21,506
税金等調整前四半期純損益	△16,952	△2,124	△3,024	△77,321
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△19,272	△5,308	△6,372	△80,234
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	△206.63	△56.92	△68.32	△860.22
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	1,024,770	1,037,415	992,148	951,261
純資産	280,345	284,603	264,012	181,233